

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ゲノム複製におけるDNAポリメラーゼ間の協調的機能
2. 研究代表者： 大学 保一（(公財)がん研究会 がん研究所 プロジェクトリーダー）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は DNA ポリメラーゼ間での協調的機能を解明し、ゲノム複製における正確性と柔軟性のバランスを維持する機構を明らかにすることを目的としている。フェーズ1では特定の DNA ポリメラーゼの合成プロファイルや複製開始に関わるクロマチンパターンを明らかにした。がん化などの細胞の性質の変化を解析するための細胞腫作成についても研究が進行しており、独自の解析法を活用して DNA 複製研究に新たな局面を切り開きつつある。フェーズ2はさらに多くのポリメラーゼの解析を進めるとともに、新たに1分子レベルでの DNA ポリメラーゼの合成領域の解析にも取り組み、細胞腫の違いによるポリメラーゼの協調機構の変動を明らかにする計画である。着実な成果と共同研究などにより、さらなる展開に大きく期待する。

以上